



夏休みの思い出アルバム



今年も市内各地域で夏祭りや花火大会、伝統行事などが行われ、多くの住民や帰省客が、いろいろなイベントに参加。楽しい思い出を作りました。



7月28日

星鹿町みなと祭り

今回の祭りでは和船競漕に加え、海上綱引き、のど自慢や早飲み競争といったステージイベント、地区や各種団体による出店ブースなどが設けられました。町民全員が参加し、楽しめるイベントにするため規模を拡大して行われ、会場内はたくさんの人でにぎわいました。



7月27日

疫神社夏祭り今福花火大会

一芸自慢が集結した今福P-1グランプリやラムネの早飲み、よさこいや和太鼓、平戸神楽のほか、会場内の露店には地元の食材を使った、かき揚丼の『今福丼』もお目見え。祭りの最後には、約1,200発の花火が打ち上げられました。



8月11日

鷹ら島夏祭り

9時の朝セリから始まり、マグロの解体・試食会のほか、会場内の特設ステージでは、チビっすいか割り大会、鷹島旅情の踊り、カラオケ大会などのイベントが行われ、島内外からたくさんの人が訪れました。



8月15日

志佐町納涼花火大会

露天が立ち並び大抽選会も行われ、たくさんの人で賑わいました。麦わらや竹で作られ色紙や灯ろうなどで飾られた精霊船が通りを練り歩き、志佐川に浮かべられると、夜空には約1,300発の花火が打ち上げられ、見物客の目を楽しませました。



8月14日

ふくしま夏祭り

民謡や日本舞踊、よさこいやフラダンスなどが披露されたほか、地元住民や帰省客などが会場の中央に大きな円を作り、みんなで盆踊りを踊るなど古里の夏のひとときを楽しみました。



8月15日

牟田ジャンガラ

地区の住民など約40人が参加し、御厨徳（めぐむ）の墓とされる石塚のある場所で、「ハリナム・ホッポンジャ・ホイホイホイ」の掛け声に合わせて、石塚の根元をのぼりで突きながら五穀豊穡と無病息災を祈願しました。



8月15日

星鹿ジャンガラ

長さ約15mの「大のぼり」や子ども用の「小のぼり」で、僧の墓とされる石塚を叩いたり、「ナム・ホーリ・ホッポンジャ・ホイホイホイ」の掛け声に合わせて浄土寺境内の地面を突いたりしながら豊漁と無病息災を願いました。

鷹島町と福島町で国内交流

●鷹島町でホークス交流

8月6日から10日にかけて、北海道鷹栖町と本市の小学生がホークス交流を行いました。

この事業は、夏休みに鷹栖町の児童が本市へ、冬休みに本市の児童が鷹栖町を訪問し、互いの地域の風土や文化の違いなどを体験し交流を図ることを目的に行われています。

今回は鷹栖町の児童3人が、ホームステイ先の児童と元寇の史跡巡りや海水浴、モンゴル村でのゲル宿泊を体験しました。

また、9日の登校日には平和学習に参加しました。



—ホークス交流と生徒学習交流—

●福島町で生徒学習交流

8月8日から11日にかけて、長野県木曾町の中学生8人が本市を訪れ、本市の中学生と学習交流を行いました。

木曾町の生徒たちは、松浦市の生徒宅にホームステイをしながら、受け入れ家庭との交流や市内見学、海水浴といった松浦市での生活や文化を体験し、互いに交流を深めました。

また、鷹島中学校の平和祈念集会にも参加し、鷹島中学校の生徒と共に恒久平和への祈りを捧げました。

